

連邦巡回区控訴裁判所（CAFC）判事に Stark 氏を指名

2021 年 11 月 12 日
JETRO NY 知的財産部
石原、赤澤

11 月 3 日、ホワイトハウスは、バイデン大統領が新たな判事 10 名を指名することを発表した¹。この中には、2022 年 3 月に連邦巡回区控訴裁判所（CAFC）を引退する O’Malley 判事²の後任となる Leonard Stark 氏が含まれる。

Stark 氏は、2010 年からデラウェア地区連邦地方裁判所の判事であり、2014 年 6 月から 2021 年 6 月まで首席判事を務め、現在も同裁判所で判事を務めている。イエール大学ロースクールで法務博士号（J.D.）、オックスフォード大学で哲学博士号を取得しており、法律事務所のほか、デラウェア地区連邦地方裁判所での下級判事や連邦検事としての勤務経験を有する。

デラウェア地区連邦裁判所は米国で最も特許訴訟の件数が多い裁判所の一つであり、特に 2017 年の TC Heartland 事件最高裁判決³で特許訴訟を提起できる裁判所が限定されたことにより、デラウェア地区連邦裁判所への提起が急増していた。O’Malley 判事の後任としては地裁判事の経験を有する者が期待されていたところ、Stark 氏は特許法に関して最も経験のある地裁判事の一人であると言われている。

Stark 氏は特許適格性の法理に大きな影響を与えた Alice 事件最高裁判決⁴の直後に首席判事となっており、特許適格性に関する訴訟を多数担当した。American Axle & Manufacturing v. Neapco Holdings 事件⁵では、振動を抑制するライナーを備えた駆動系プロペラシャフトの製造方法について、自然法則をクレームしているとして特許無効と判断した。また、Stark 氏は「101 条の日（Section 101 Days）」と称して、特許適格性に関する複数の事件の申立てをまとめて審理する手続を始めたことで知られている。特許訴訟に関する豊富な経験を踏まえて、CAFC での Stark 判事の活躍を期待する声が多く聞かれる。

Stark 氏の指名が承認されれば、7 月に上院の承認を得た Cunningham 氏に続き、バイデン大統領が指名した 2 人目の CAFC 判事となる。

米国知的財産権者協会（IPO）は 11 月 8 日、USPTO 長官への Kathi Vidal 氏の指名⁶と、CAFC 判事への Stark 氏の指名を歓迎する書簡⁷を、連邦議会上院司法委員会の Dick Durbin 議員（イリノイ州選出、民主党）及び Charles Grassley 議員（アイオワ州選出、共和党）、同委員会知的財産小委員会の

¹ President Biden Names Ninth Round of Judicial Nominees (Nov 3, 2021)

² https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnews/us/2021/20210730.pdf

³ https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnews/us/2017/20170525.pdf

⁴ https://www.jetro.go.jp/ext_images/world/n_america/us/ip/news/pdf/20140623.pdf

⁵ https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnews/us/2020/20201029.pdf

⁶ https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnews/us/2021/20211026.pdf

⁷ IPO Letter to Senators Durbin, Grassley, Leahy, and Tillis (Nov 8, 2021)

Patrick J. Leahy 議員（バーモント州選出、民主党）及び Thom Tillis 議員（ノースカロライナ州選出、共和党）宛に送付した。書簡の中で IPO は、CAFC 判事の指名について Stark 判事は極めて適任であるとしている。また、O’Malley 判事が CAFC 判事への就任前に 16 年間の地裁判事の経験を有していることを挙げ、その空席を埋めるには特許法分野における豊富な経験が必要なこと、現在の CAFC には他に地裁判事の経験者がいないことを指摘している。そして、司法委員会が Vidal 氏および Stark 氏の指名承認のための公聴会を早急に開催することを要請している。

（以上）